

# 神川まちづくり委員会

金井 忠一 会長(前列左から4番目)

設立年月 令和元年6月

対象区域 神川地区自治会連合会の範囲  
区域内世帯数：4,663世帯  
区域内人口：10,119人  
(令和4年9月1日現在)

構成団体 神川地区自治連ほか19団体



## 住民自治組織でまちづくり

このコーナーでは、市内に設置済みの住民自治組織の活動をシリーズで紹介していきます。この組織は、一定の区域を範囲として、各種団体が参画・連携・協力し、防災や地域福祉など、単独の自治会だけでは対応が難しい課題の解決や地域の特色を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

## 神川地区はどんなところ？

地区の中央を神川が南北に流れ、千曲川に合流しています。もともと明治22(1889)年に地区内4つの村が合併し誕生した神川村が、昭和31(1956)年に上田市に合併し現在の神川地区となりました。この地区には長野県で唯一の信濃国分寺があり、「日本遺産」の構成文化財の一つです。また、しなの鉄道の<sup>うまいとろ</sup>大屋駅は、かつて碓氷峠の鉄路を使って諏訪地域の生糸を横浜まで輸送するルートとして使われ、「近代製糸業発展の歩みを物語る富岡製糸場などの近代化産業遺産群」の構成遺産の一つです。



信濃国分寺

## 主な活動内容を教えてください

最初の大きな取組として、神川地区の「まちづくり計画」の策定に当たり、地区内の全戸を対象にアンケートを実施しました。また、歴史と文化が残っている神川地区の縄文時代からの移り変わりがわかるよう、神川地区公民館のまちづくり活動室には「みんなで作る神川歴史年表」を貼り出しています。「総務」「健康・福祉・教育」「安全・防災・環境」「歴史・文化」のそれぞれの分野を担当する4つの部会が中心になって活動しており、超高齢・少子化社会の中で「健康寿命」延伸のための健康診断受診拡大の取組や地域の教育機関などへの支援活動、災害時に消防団が機動的に運用できる発電機・排水ポンプの整備を行っています。



みんなで作る神川歴史年表

## 地域の歴史を大切にしたい取組

### ●これまで22回開催！神川講座

地域の歴史をよく知ってもらうために開催し、これまでに延べ約700人が参加。今後も次世代に地域の歴史を知ってもらえるような講座にしていきたいです。



講座の様子

### ●7年に一度の御柱祭り！

今年8月6日に堀川神社で行われた御柱祭り。御神木の「山出し」や「里曳」など多くの人手によって支えられている伝統的な行事です。神川地区全体で将来に引き継いでいきたいと考え、実行委員長、地元自治会とともに参加を呼びかけました。コロナ禍のため、いつもどおりとはいきませんでした。無事、実施できました。



御柱の山出し

### ●そのほかの取組

- ・大正時代の芸術家<sup>やまもとがら</sup>山本鼎が開催した第1回児童自由画展覧会の会場になった神川小学校や「神川山本鼎の会」と連携した現存する児童自由画の保存。
- ・国分寺史跡のうち未整備の国道18号北側部分の活用策検討。
- ・信濃国分寺のハス祭りや神川地区公民館の竣工式などでも披露された「上青木地域」と「上沢地域」に残されている獅子舞の後継者の確保・育成。

## 活動の展開で苦勞していること

広報活動の一環としてインターネットの活用を検討していますが、変化が激しい分野なので苦慮しています。また、コロナ禍のため、思うように活動できない中で、設立時の役員を再任していますが、まちづくりへの熱意を次世代にどうつなげていくかが課題です。

市の人口(令和4年9月1日現在)

人口：153,928人 男：75,430人 女：78,498人 世帯数：69,095世帯



編集・発行 上田市

〒386-8601長野県上田市大手1-11-16

☎0268・22・4100 0268・22・4131 0268・22・4131 0268・22・4131 uedapr@city.ueda.nagano.jp

令和4(2022)年10月号(毎月16日発行)



アプリを通じて、市のお知らせをスマートフォンやタブレットからご覧いただけます。



この印刷物はグリーン購入法の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。